

# 要　望　書

銚子連絡道路は、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）などの広域的な幹線道路と一体となって、千葉県山武・東総地域と首都圏が結ばれることにより、広域的な交流・連携の強化が期待されるものであり、地域経済の活性化や発展に欠かせない重要な高規格道路である。

圏央道については、唯一未開通区間の大栄・横芝間にについて、令和8年度までの開通に向け、工事が進められており、その完成により周辺地域での物流拠点施設や商業施設の立地、観光客数の増加や生産性の向上が図られ、地域経済の好循環をもたらすストック効果の発現が期待されるものである。

銚子連絡道路は、山武・東総地域へもこれらの経済効果を波及させるとともに、海と緑の豊かな自然環境から育まれる新鮮で安心安全な農水産物を銚子漁港などの拠点から首都圏へいち早く供給するための輸送手段として、また、平常時・非常時を問わず機能する安全・安心な道路ネットワークを確保するためにも銚子連絡道路の一日も早い完成が必要である。

そのような中、令和6年3月、横芝光町から匝瑳市間の5kmが開通し、銚子連絡道路の延伸によって、地域の利便性が向上したところである。

現在、匝瑳市から旭市間の13kmについては、令和4年度に事業化され工事に向けた調査・設計、境界立会が進められており、また、旭市から銚子市間の旭市側3kmについては、八木拡幅として部分開通を目指し事業が進められているが、更なる広域的な交流・連携の強化等が図られるよう、事業中区間のより一層の早期整備が望まれるところである。

そこで、私ども「山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会」は、銚子連絡道路の早期整備の促進に関し、銚子連絡道路整備促進地区大会において次のことを要望する。

- 1 匝瑳市から旭市間について、一日も早く完成させるよう、事業を促進すること。
- 1 旭市から銚子市間（八木拡幅）について、早期の開通に向け着実に事業を促進すること。
- 1 防災・減災、国土強靭化の取組みの加速化・深化を図り、国土強靭化基本計画に基づき確実に事業を実施できるよう、新たな国土強靭化実施中期計画においては、現行の対策を大きく上回る必要な事業・予算規模で策定し、今後の人件費等の高騰等の影響を適切に反映した必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保すること。
- 1 激甚化・頻発化する大規模自然災害の脅威・危機に即応するための 地方整備局等の体制の充実・強化や災害対応に必要となる資機材の更なる 確保に取り組むこと。
- 1 道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源の創設等により、令和8年度道路関係予算は、賃金水準などの上昇も加味した上で、必要な予算を満額確保すること。